第59回
甲府中学・甲府一高
東京同窓会記念誌

日新誌

vol.25

1st for tomorrow
伝統と改革を紡ぐ、
未来へ



山梨縣立甲府中學校校歌

作詞：三井甲之
作曲：東京高等音樂學院

一、我等は日本に生まれたり
神の御代より一系の
皇統戴く我國に
生まれしことのうれしさよ
皇國の榮えは天地と
共に窮りなかるべし

二、大和島根に山めぐる
甲斐の國あり水清き
郷土の歴史顧みよ
我等の務め輕からず
見よや南に富士ヶ嶺は
皇國の鎭めと聳えたり

三、大海原の搖りやまぬ
波をも風をも凌ぎつつ
護れ皇國を諸共に
國民擧りて國のため
撓まず萎縮まず辟易がず
進むぞ大和ごころなる

山梨県立甲府第一高等学校校歌

作詞：上条馨
作曲：小松清

一、甲斐の国　み中に建ちて
古へゆ　雄心伝へ
新しき　世の鑑とし
勉めてむ　この学舎に

二、日に新た　また日に新た
弥高き　のぞみをもちて
真なる　理究め
励みなむ　若人我等

三、聳え立つ　芙蓉の高根
清き哉　甲斐の山川
もろともに　玉と磨きて
賛くべし　天地の化育

環境への想いをかたちに



真心と確かな技術
株式会社 早野組

ISO 14001 認証取得
ISO 9001 認証取得

本　社■〒400-0807 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10
TEL.055-235-1111(代) FAX.055-235-1109
■リニューアル部　TEL.055-232-0200
■環境事業部　TEL.055-232-8686
■早野リバブル　TEL.055-268-3333

■東京支店　東京都八王子市千人町二丁目5-24　TEL(042)667-8800　FAX 667-9497
■中部支店　長野県飯田市上郷飯沼1438-1ｻﾞﾝ・ｲﾅｶﾞｷﾙ階　TEL(0265)22-3969　FAX 52-2171
■新宿営業所　東京都新宿区四谷二丁目11ｱｼｽﾄﾋﾞﾙ7階　TEL(03)3352-8700　FAX 3352-8710
■静岡営業所　静岡県掛川市下俣南2-3-20ﾊｶﾞｸﾚﾏｲﾀｳⅠ 10105号室　TEL(0537)22-1301　FAX 22-1302
■岐阜営業所　岐阜県土岐市土岐津町土岐口2067-ﾄﾞﾘｰﾑﾏﾝｼｮﾝ1階A号室　TEL(0572)55-2834　FAX 55-0817

URL http://www.hayano.co.jp

Greeting
ごあいさつ

「日新鐘」に寄せて



東京同窓会 会長
井上幸彦
（昭和三十一年卒）

来年四月三十日を以て平成時代が終わりを告げることとなった。天皇陛下の御譲位に伴うものだ。

平成といえば、私は、昭和最後の年に警視庁警備部長の職にあり、昭和六十四年一月七日、昭和天皇崩御と共に「大喪の礼」警備対策の任に当たることとなった。厳しい情勢下ではあったが、警視庁挙げての対応により、二月二十四日の「大喪の礼」警備も無事完遂することができた。

平成七年には警視総監の任にあり、あの許すべからざる「オウム真理教」犯罪者集団による地下鉄サリン事件と遭遇することとなった。世界を震撼させた無差別大量殺伐テロの発生である。これも全庁挙げての対応により麻原以下犯人共を逮捕し、法廷に送り出すことができた。これも国民の皆様の幅広い警視庁に寄せる信頼と激励があったからに外ならない。

又、他にも平成七年の阪神淡路大震災、平成二十三年の東日本大震災と大災害の多い時代でもあった。

改元は明年五月一日に行われるとのこと、どんな元号になっているのであろうか。来年の同窓会は、新しい元号下での開催ということになる。

さて、今年の同窓会のテーマは「1st for tomorrow ～伝統と改革を紡ぐ、未来へ～」だ。一高は、これまでよき伝統を後代に引継ぎ、変えるべきものは変えてと今日まで来た。

この同窓会が、一高の伝統を確認しあい、未来に一高魂を継承させる機会となることを、切に願う次第である。

ご挨拶



甲府第一高等学校 校長
堀井 昭
（昭和五十二年卒）

平成三十年度甲府中学・甲府一高東京同窓会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。また、同窓生の皆様には、本校への物心両面にわたるご支援、ご協力を頂き深く感謝いたしております。

母校は創立一三八周年を迎えました。節目となる二年後一四〇周年に向け記念事業協賛会が五月の同窓会総会において承認され活動を開始したところです。

平成三年に設置された英語科は今年三月、二五期生の卒業をもって幕を閉じ、来春には新設された探究科一期生が卒業を迎えます。

昨年度の進学実績は、国公立大学に延べ一二四名が合格し大きく躍進しました。一方、九〇％超の生徒が部活動に励み、放送部、新聞部、文学部、美術部、書道部、アカペラ部、水泳部、山岳部、アーチェリー部、スケート部が全国大会へ、吹奏楽部、写真部、陸上部、ソフトテニス部、弓道部、柔道部、空手部が関東大会へ出場を果たしました。

伝統行事の強行遠足は、本年九二回を数え、十月六、七日に実施します。五年前から同窓生の方々に佐久穂から小諸までの各検印所の運営をお願いしており、今回は昭和五十七年～六十二年卒の皆様にお世話になります。

我々教職員一同、今後もなお時代の変化に対応しながら一高の歴史と伝統を継承し、より一層の進化を期して一丸となって取り組んでまいります。

結びに東京同窓会の皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いするとともに、益々のご発展とご健勝を祈念し、ご挨拶といたします。

東京同窓会開催に寄せて



平成三十年度実行委員長
穴水芳光
（昭和五十五年卒）

ご来賓の皆様ならびに同窓生の皆様、本日はご多用の中、第五十九回甲府中学・甲府一高東京同窓会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、「日新鐘」の発刊に際し広告を出稿して頂きました皆様、ならびに本日の東京同窓会開催にお力添えを頂きました全ての皆様に、当番幹事学年一同、心からの御礼を申し上げます。

さて、今回の東京同窓会のテーマは「1st for tomorrow ～伝統と改革を紡ぐ、未来へ～」といたしました。これは、諸先輩の努力によって守り受け継がれてきた甲府中学・甲府一高の「伝統」を、永久に継承していくため、東京同窓会自体も「改革」の第一歩を踏み出すことを表したものです。同窓生の皆様からのご意見も承りながら、環境の変化に対応した「改革」を進めて参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、この場を借りてお願い申し上げます。

また、今年の「日新鐘」は、四十年ぶりの取材でみえた「応援練習」の現在、そして、写真で振り返る「強行遠足の今昔」をメインに編集いたしました。甲府中学・甲府一高の「伝統」が、今どのように受け継がれているかを、是非ご確認下さい。

そして、本日の懇親会では、甲府市役所様の特別のご好意により、故郷・甲府の江戸時代の様子を最新のCG技術で再現した「甲府城下VR（バーチャル・リアリティ）」をご覧頂く他、母校の現在を紹介するスライド等をご用意しております。

デジタル技術の発達により、メールやアプリで手軽に連絡を取り合うことができる時代になりましたが、顔をつき合わせて対話することに優るコミュニケーションはございません。本日の東京同窓会が、皆様の旧交を深め楽しい時間になること、また時代を越えた諸先輩方との出逢いで同窓生の皆様の「未来」が、ますます発展することを祈念して、当番幹事実行委員長の挨拶とさせていただきます。



1st 伝統と改革を紡ぐ、未来へ for tomorrow

校歌 ……1
山梨県立甲府中学
山梨県立甲府第一高等学校

「日新鐘」に寄せて ……2
東京同窓会 会長 井上幸彦
甲府第一高等学校 校長 堀井 昭
平成三十年度実行委員長 穴水芳光

特集1
高校時代の一番長い日
応援練習 ……6

特集2
〝写真でみえる〟
変わりゆく運営・変わらぬ本質
伝統の強行遠足 ……12

小江戸甲府VR ……16
コラム「甲府中学・甲府一高、甲子園出場3回の軌跡」……17

卒業生からの便り ……18
「私の中の山梨、そして母校」井上浩秀

卒業生からの便り ……20
「医療の安全と効率と倫理」 小林英一

一紅会
「任期を終えるにあたって」一紅会会長 谷口百合子
第二十一回一紅会講演会リポート「脳卒中医療の最前線から」……22

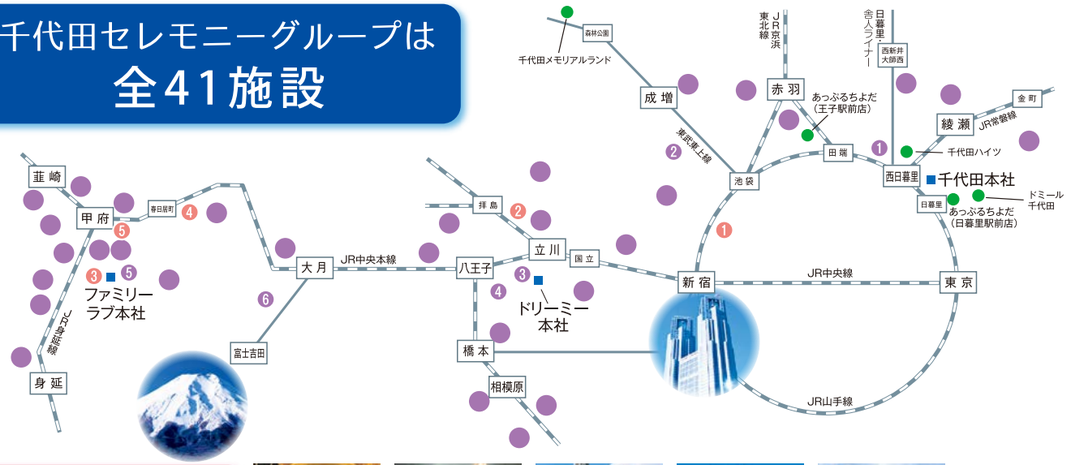
インターネットで同窓会 ……24
一高の一年＆SGHの一年 ……25

広告一覧 ……30
編集後記 ……48

挿画 中村秀樹（昭和55年卒）

日新鐘
第59回 甲府中学・甲府一高 東京同窓会記念誌 vol.25

千代田セレモニーグループは
全41施設



BRIDAL
結婚式場
HOTEL
ホテル


セレス 高田馬場
東京都新宿区高田馬場


セレス 立川
東京都立川市曙町


アビオグランドステージ
山梨県中巨摩郡昭和町西条


ホテル春日居
山梨県笛吹市春日居町


PRIVATESTAY HOTEL たちばな
山梨県甲府市丸の内

MEMORIAL
葬儀式場

厚生労働省認定1級
葬祭ディレクター100名
年間葬儀件数6,000件


メモリアルセレス千代田21
東京都荒川区西日暮里


千代田赤塚ホール
東京都板橋区赤塚新町


立川メモリアルホール
東京都立川市富士見町


ドリーミーホール八王子
東京都八王子市長沼町


アビオセレモニーホール甲府
山梨県中巨摩郡昭和町清水新居

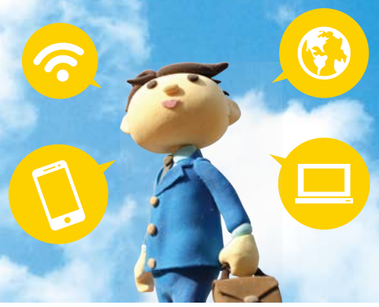

アビオプラザ都留
山梨県都留市田野倉

グループ本部　〒116-0013　東京都荒川区西日暮里2-39-4　　TEL 03-3802-4191（代表）

スマホ、ケータイ、インターネット
通信のことなら

フォネットグループ

phonet-gr.jp



フォネット　ポート　yamanashi mobile　BM Yamanashi　たのしい　コミット　クリエイト　フリート　smart　Jバウンド　豊観光　RI's

株式会社 フォネット

フォネット

代表取締役
フォネットグループCEO　清水　栄一
（昭和55年卒）

株式会社 ポート

ポート

代表取締役
フォネットグループCOO　上田　昌之
（昭和55年卒）

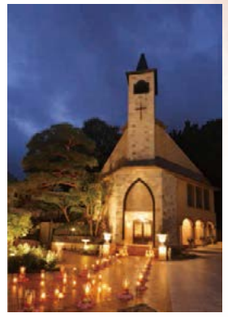
八王子日本閣　Noce Ange

Special Wedding Plan

家族もゲストもおふたりも
みんなが笑顔になる結婚式を・・・







八王子日本閣　検索

＊甲府一高　ゆかりの方のご結婚式は特別ご優待を
させていただきます。お気軽にお申し付けください。

八王子日本閣　〒192-0375 東京都八王子市鑓水530-2 TEL042-676-4122

祝　第59回甲府中学・甲府一高東京同窓会



永遠の１（一高）～未来への襷～　　Ask what we can do in TOKYO for ICHIKO

昭和53年卒業生一同

高校時代の一番長い日
応援練習

毎年４月に行われる応援練習
それはそれは衝撃的な出来事だった
しかし、それを乗り越えられたからこそ今がある

今年4月に体育館で行われた応援練習

高校時代の一番長い日

応援練習



カラン、カランと、下駄の音が外で聞こえた。

その音が何なのか、一日目はわからなかった。

「ずぇ～～いん（全員）　くいきり～つっ（起立）‼」

あの応援練習の始まりだった。

甲府一高に入学してほどなく行われた「応援練習」。それが一体どんなものなのかもわからず、「なんか校歌とか覚えていないとヤバイらしい」という、ただ漠然としたイメージしかないままに講堂に入った。

とにかく恐かった、そして手を上げていることが辛く、大きな声で歌い、先輩から怒鳴られた三日間だった。

「おめぇらは一高生じゃねぇ。北高生だっ！」

と、ちょうど四校選抜が始まった最初の年、南、西、東高校の中で、一高は北高ではなかったが、そこが先輩達からすると突っ込みどころだったんだろう。以前は、「中学四年生」と言われていた時代もあったらしい。

甲府一高の洗礼を受けた三日間だった。

応援団は明治時代から存在した

応援団や応援練習の起源は実際のところ定かではないが、応援団自体は甲府中学時代の明治30年からとされ、「鶴城に」「起て起て起て健男児」「希望の光」などの応援歌が次々に生まれた。また、昭和3年に甲府中学が今の美咲に移転し、「甲府中学校校歌」が誕生。「甲府の早慶戦」ともいわれた甲府中学と甲府商業の定期戦で、応援団の存在が記録に残っている。

この頃から野球大会への応援にも熱が入り、昭和10年、初の甲子園出場となったことからも、応援団の存在が意識できる。『甲府一高新聞』で、昭和23年、甲府中学校から甲府第一高等学校に変わった年、「甲府一高よ、応援団の結成を急げ」という記述をみつけた。新体制の元、応援団も再結成を急いでいたのだと思う。

さらに同新聞によると「昭和26、27年頃から応援練習が始まった」という記述もあった。当時は応援団員が工業や商業へ出かけていき、練習方法を習い、積極的に応援歌も作った。また、練習は校庭で行い、練習内容は校歌、応援歌、そしてそれに合わせた手拍子と、応援に実践できるための練習だった。

恐い応援練習への変革

その後、20年余りこの練習方法が続いたが、昭和40年代に入り、総合選抜制が始まった頃、大学への進学が一般化したことで、進学校である一高へ入学する学生が増加した。それに伴う生徒の多様化が、応援練習の内容を変えていった。つまり「応援のための練習」から、「集団訓練」の練習も兼ねたものになっていったようだ。応援練習を通じ、単に校歌や応援歌、手拍子を覚えるだけでなく、一高独特の校風を学び、自分の入った学校に対する連帯感や先生や先輩に対する礼節を学ぶことも含まれていった。まさに「一高精神」である。

この頃から応援練習は講堂に変わった。薄暗く風通しの悪い状況下、応援団の厳しい指導は、時に行きすぎた行為として学校側から規制されることもあった。しかし、この厳しい練習を経験することで「真の一高生になれる」という達成感が得られる、という声も多く聞こえた。

10年程その厳しさは続いたが、やはり時代の変化は人間の意識や体力にも変化を及ぼす。苦しい練習に耐えきれず気分の悪くなる生徒が増加し、父兄からもその状況に、応援練習の在り方を問いただされることも。そのたびに生徒側と学校側、そして父兄をふくめ、話し合いを重ね、改善を企てながら現在に至っている。

応援団はあくまで黒子であるべし

応援練習の指導を行っていたのは応援団と生徒会、そして各クラスから出る応援委員。応援団は前述したように明治からあったようだが、現状のような組織に





昭和53年卒業アルバムから。私たちが受けた応援練習の指導してくれた応援団。54年、55年卒の応援団とともに

なったのは昭和20年代後半。今に至るまでに、厳しい応援練習の影響や、今どきではないと敬遠されることもあり、時に団員数の著しい変化に悩まされることも。

「実は我々の時代が応援練習中に具合悪くなる生徒が増えたピークだったと思う。そんな時代だったので、何かと応援団は注目を浴びてしまう。だからこそ目立ってはいけなかったのです。我々は応援する立場ですから。ただ、あの厳しい練習を指導するからには、される側の１００倍位（笑）厳しい練習を重ね、必死に気力や体力作りをやってきました。特に春休みに行われる合宿でのＯＢの指導はキツかった。ひたすら体力作りでした。あと、応援委員と一緒に、毎日昼休みに放課後にと練習をしていましたね」

「旗手は応援が終わるまで、団旗を降ろすことはありません。そして誰も旗手を手伝うことはできなかった。かなり体力が必要でした」（星野副団長：昭和52年卒）

確かに風が吹くとゆうに１００キロ超える大団旗を持ち続ける体力。応援団が辛い顔をしては後輩にしめしがつかない。それだけに強い精神力を養うことは必須だ。手本となるための厳しい努力があっての応援練習であり、単に大声あげて威張っていたわけではない。

その頃、応援団に入部した大半が自ら志願したというより、先輩からの声掛けによる入部だったようだ。しかし一旦入部すると、「やったるぜ」といった男気に火が付く。そして応援練習を通し、一高の精神や校風を理解させること、しっかりと伝統を受け継ぎ、次世代につなぐことを使命と考えるのが応援団でもあった。

今年の応援練習で聞いた40年前と同じ言葉

現在も続く応援練習。今年40年ぶりにその練習を見学する機会を得られた。

場所は昭和53年から体育館に変わり、講堂の時とはかなり印象が変わっていた。ひとクラスずつ、応援委



↑「二度とやりたくない応援練習」と書かれたことも（過去の「日新鐘」から）





応援団の部室には年季の入った下駄や腕章が

これからも続く応援練習という伝統とその変革

甲府中学・甲府一高同窓会でも、毎年応援団による校歌、応援歌斉唱が行われている。実は10年前、それまで現役の応援団によって行われていたが、残念ながらその年、現役応援団が不在だったため、幹事学年（昭和51年卒）の応援団が羽織、団服を着て登場することになった。すると現役の高校生より、同窓生が行った方が親密感もあり、同窓会らしいということになり、それ以来、幹事学年の応援団を中心に校歌・応援歌が歌われている。

今年もあのシンバルの音と共に、入場曲「フランス分列行進曲」が流れ、団旗と共に応援団が入場。校歌、応援歌を全員で歌う。

時代は違えど、同じ学舎で学んだ者同士が一堂に会し、全員が旧制中学・高校時代にタイムスリップするような錯覚が味わえる。暗い講堂の匂い、同級生達の必死な形相、応援団の罵声、太鼓の音……。昔を懐かしみ、大変だったからこそ、良き思い出として深く刻まれ、その時頑張った自分を思い出せる瞬間。

伝統を続けていくためには努力が必要だ。そしてその時代時代に合った方向の模索も。最近は携帯やSNSの登場で、人間同士のコミュニケーションがどこか希薄になる世の中で、「応援練習」のような人との関わり合い方は「古い」かもしれない。しかし、こういった人間の感情が直接響き合うことは大切だ。カラン、カランと応援練習に向かう下駄の音は、高校時代の熱い長い一日と、良い思い出になっている。応援練習をやり続ける努力と勇気に、これからもエールを贈りたい。

「伝統を続けていく上で、甲府中学、甲府一高生には、何が必要か、大切か、見極める力があるはず」

ふと言った先輩の言葉が、心に響いた。

（日新鐘・編集部）


昨年の東京同窓会での応援団


10年前、同窓会にて同窓生による応援団を再結成させた51年卒の応援団（右から3番目が羽田団長）



カメラを向けると、するどい目つきで応援団員に変わる現役応援団員の吉村君

参考文献／「甲府一高新聞」、「山梨県立甲府第一高等学校応援団同窓会サイト」

今年も熱く長い2日間だった応援練習













員先導の元、全速力で新入生が走って体育館に入ってきた。そして緊張感漂う空気の中、校歌や「起て撃て勝て」「アトム」など、一曲ずつ練習していく。最初に応援団吹奏楽部の演奏で練習した後は、各自がひたすら何度も歌う。怒濤のようにその声が体育館の中に響き渡る。その気迫に昔の思い出がフラッシュバックしてきた。高校生になりたての真っ白な新入生が、がむしゃらに、ただがむしゃらに校歌や応援歌を歌い、「わっしょい、わっしょい」と叫ぶ。応援団をはじめとした各クラスや運動部の部長などで形成された応援委員の指導にも熱がこもる。睨みつける眼光はするどいが、指導は丁寧だ。今は女子の応援委員も存在し、男子よりも熱く指導しているように感じた。

今は昔と違い覚えなければならない校歌や応援歌は事前にCDにて配布されている。

「現在は、体力だけでなく精神面のケアも必要となっています。できるだけ、父兄はじめ皆さんの賛同を得て続けていきたいと考えています」と堀井校長。現在は教員立ち会いのもと、救護班を待機し、具合が悪くなった生徒に無理させないような工夫も行っている。

しかし、残念ながら現在の応援団員は吉村颯馬君ただ一人だ。彼は応援団に憧れて入部した。「まだまだ未熟だが、後輩を入れてなんとか盛り上げたい。己の型をもっと磨き、より気迫が出るよう練習していきたい」

旧校舎では応援団の練習場所は屋上だった。新校舎からは昇降口の扉に自らを映し出し、先輩不在の今はYouTubeなどの映像を見ながら練習しているという。

吉村君が応援練習の最後に、新入生に向かって、「最後までよく頑張った。高校生活で何か辛いことがあった時、この経験を思い出して乗り越えろ。これが一高の伝統だ。一高は何でも一番だから一高なんだ！」

この言葉は40年前と同じ言葉だった。

“写真でみえる”

変わりゆく運営・変わらぬ本質

伝統の 強行遠足



よ〜いスタート！

男子生徒は甲府一高、女子生徒は高根。かつては一斉にスタートしていたが、現在はどちらも学年別に間隔をあけて出発している。







持ち物も多様化に

ペットボトルが普及したのは今から20年前。それまでは、ほとんどの生徒が給水所だけで水分補給をしていた。食べ物も今はおにぎりだけでなく、軽量の栄養（エネルギー）補給ジェルなど、大きく様変わりしている。







服装（男子）の変革

昭和30年代から平成初期まで、学生服の上着に白ズボンは、一高生の強行遠足スタイルとして長く親しまれた。現在は学校の体育着となり、学年別に色分けされている。











昭和50年代の女子の荷物は少ない

現在の女子生徒はたくさんの荷物を背負っていく

男子・出発地点

甲府一高 0.00km
〈標高 288m〉

韮崎 11.0 km

須玉 23.1 km

女子・出発地点

高根 31.6 km
〈標高 725m〉

若林 35.7 km

大泉 40.0 km

まきば 43.7 km

清里 48.9 km

野辺山 53.9 km
〈標高 1355m〉

市場 59.8 km



昭和30年代には、なんと「私がお守り」と書いた布を全身にまとって見送る女子生徒もいた!!

甘〜いお守り話も時代と共に…

女子生徒が手作りのお守りを作って男子生徒に渡すのは、今も昔も変わらない。かわいい小さな袋を作り、中にアメと絆創膏を入れる。最近では手書きの応援メッセージも。









お守りをもらった男子生徒は、お礼におみやげのリンゴを渡す。
現代は渡すだけにとどまらず、リンゴをもらった女子生徒はそのリンゴでアップルパイを焼いて二人で一緒に食べる……♡
という甘酸っぱいストーリーが展開されている。ただし、それは双方に特別な思いがあった場合のみ！だとか。

名物のしじみ汁も歴史が長い！

第3回大会（1926年）の昭和元年より、絶えることなく続いているしじみ汁。昭和37年の佐久往還から野辺山の名物にもなった。かつては全てお椀を使っていたので、協力者の方々はさぞかし大変だったことだろう。現在は使い捨て容器を使用している。

帰路は電車からバスに

現在は、何台もの大型バスが全生徒を回収して学校へ送り届けているが、かつて、生徒たちは電車を乗り継いでそれぞれ帰宅していた。小海線の各駅には疲れ切った生徒たちがあふれ、車内も疲労困憊で床に座り込んだり寝ている生徒で満員状態だった。







電車を利用していた時代、小海線は一高生のために臨時電車を出してくれていた。… いや、他の乗客のためだったのか？







強行遠足といえば有名な《臼田のおばちゃん》

平成18年、第80回大会の年に逝去された「臼田のおばちゃん」こと依田トミ子さん。お世話になりました。臼田のおばちゃんにもらったリンゴをお守りのお返しに渡す男子も多かったはず。今でもピカピカに磨かれたリンゴが配られている。

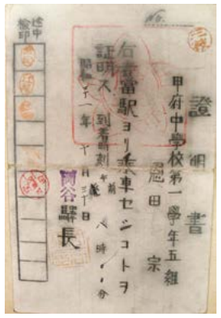


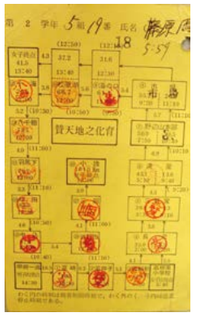
マメの話は昔話？

かつては、検印所・給水所で、男子生徒が靴と靴下を脱いで足にできたマメの手当をする姿は当たり前のようにあったのだが、現在は靴の性能も良くなり、ワセリンなどで予防する生徒が増え、マメに苦しむ生徒は激減。



女子・最終地点









昭和20年代
松本方面の
ゴール地点



昭和40年から終点地となった小諸市。
ゴールは小諸駅や小諸市役所など



夜間の冷え込みは厳しく、検印所の先生方も防寒対策は必須だった



デジタル化した検印所

昭和50年代、検印所では生徒1人ひとりのカードにハンコを押していたが、現在の検印カードはプラスチック製となり、各々バーコードが付いているので、生徒は自分で機械にカードを挿し入れ、ピッと読み取ってもらうだけ。

検印カードにはなんと駅長印

甲府中学時代は、なんと生徒が手書きでカードを作り、検印は最寄の駅の駅長印だった！ 終点地を定めてからは印刷されたカードを使い、各検印所で先生方からハンコをもらっていた。





かつてはずらっと茶碗が並んだ給水所だった

協力者の方々によって水の入った湯呑み茶碗が用意されていた昭和50年代。洗ったり注ぎ足したりと大変だったが、大型冷水筒から生徒自らがペットボトルに給水する現在。協力者の労力も軽減している。

男子・最終地点

小諸　103.5 km
〈標高　667m〉







ゴールは小諸市庁から懐古園へ

平成28年、第90回大会からゴールは小諸市の観光名所、懐古園（かいこえん）三之門となった。懐古園とは小諸城址であるが、現在は緑豊かな公園で、桜や紅葉も楽しめる場所となっている。展望台からは静かに流れる千曲川や美しい山々を眺められ、長野県最古の動物園や島崎藤村記念館などもある。（※三之門より先は有料）

ゴールテープを目前に生徒たちがくぐるのは、国の重要文化財である三之門。そして、生徒たちは多くの観光客にも拍手で迎えられる。

（日新鐘・編集部）

一高の足跡

甲府中学・甲府一高、甲子園出場3回の軌跡


1935年甲子園第1回出場

夏の全国高等学校野球選手権大会は、今年で記念すべき100回目を迎える。

第1回は1915（大正4）年に大阪府の豊中球場で開かれた。ちなみに甲子園球場開催が始まったのは1924（大正13）年となる。甲府中学・甲府一高の甲子園出場3回の軌跡を追ってみたい。

まずは歴史的な第1回目となる1935（昭和10）年。当時は山梨・神奈川・静岡3県で全国大会出場の切符を争っていた。なかなか他県の壁を破ることができなかったが、35年8月4日の甲府市営飯田球場（現・山梨県立飯田野球場）で神奈川県代表の神奈川工業を5対4で破って、悲願の初の甲子園切符を手にした。

勝利の瞬間、球場に集まった観客がグラウンドに飛び降り、優勝旗の授与式がなかなかできなかったと伝えられている。

8月13日の全国大会第1試合で満州代表（注：当時は台湾・朝鮮も参加していた）の青島中学と対戦。10対3で快勝し、2回戦に進出する。エースの五味芳夫選手は、1試合5盗塁に成功、この記録は現在も破られていない。五味選手は翌36年に名古屋金鯱軍へ入団、山梨県初のプロ野球選手となった。

2回戦は8月18日に兵庫県代表の育英商業と対戦、11対0で大敗した。ちなみに育英商業は準優勝を果たしている。

一高2回目の甲子園出場は1961（昭和36）年の第43回大会。当時は埼玉県勢と争っていた。山梨からは一高と甲府工業、埼玉からは熊谷商工と大宮高校が出場。なんと一高と甲府工業が勝ち進み、7月31日に山梨勢同士の決勝となった。

戦前から、神奈川・静岡・長野・新潟・埼玉勢と代表決定戦を戦い、苦汁を飲まされ続けてきた山梨県民にとって、まさに夢の同県勢対決となったのである。宿敵・甲府工業を7対6の接戦で下し、26年ぶりの出場を果たす。

全国大会1回戦では愛媛県代表の松山商業に6対5で惜敗し、残念ながら初戦突破はならなかった。

もっとも新しい3回目は1968（昭和43）年の第50回記念大会。各都道府県と沖縄1校を加えた代表48校。7月30日に吉田高校を決勝で破り3回目の出場を果たす。全国大会では1回戦で島根県代表の浜田高校に惜しくも2対1のサヨナラ負けを喫した。

今年は100回目の大きな節目となる大会だ。ぜひ半世紀ぶりの4度目の出場と83年ぶりの2勝目を期待したい。

（日新鐘・編集部）



1961年甲子園第2回目の出場（日新ホール前にて）


飯田球場


緑が丘球場

＊参考文献
『甲府中学・甲府一高野球部史』（鶴城野球倶楽部編）
『全国高等学校野球選手権大会70年史』（朝日新聞社刊）

祝
第59回 甲府中学 甲府一高
東京同窓会





応援！母校と私たち
昨年は多大なご支援をいただき誠にありがとうございました
第58回当番幹事 昭和54年卒業生一同

KOFU CITY こうふ開府500年 1519－2019
江戸時代の甲府城下が
今、よみがえる！









小江戸甲府VR

体感型VR観光アプリ
ストリートミュージアム

今は見ることができない甲府城本丸や甲府城下の町並みをスマートフォンやタブレット端末でお楽しみいただけます。

会場・ロビーでもご紹介、専用アプリをダウンロードしよう！
専用アプリ「ストリート ミュージアム」（無料）を スマート端末にダウンロードして誰でもご利用できます。
小江戸甲府 ストリート ミュージアム をネットで検索してみてください。

卒業生からの便り

私の中の山梨、そして母校

井上浩秀







井上浩秀（いのうえ ひろひで）（昭和55年卒）
防衛省航空自衛隊
航空開発実験集団司令官（空将）

市川三郷町（旧市川大門町）出身。学習院大学法学部卒。昭和60年、一般幹部候補生として航空自衛隊入隊。幹部候補生学校卒業後、千歳基地、岐阜基地などで主要装備品（主に戦闘機）の維持管理業務に従事。米国、モザンビークでの海外勤務があり、平成15年からは在中国日本国大使館（北京）において防衛駐在官を務める。その後、航空幕僚監部勤務などを経て、昨年12月、現在の航空開発実験集団司令官（空将）職に就く。

赴任先で見つけた、故郷との縁

私は、府中市にある航空開発実験集団司令部に勤務する航空自衛官です。自衛官は陸海空で約23万人いますが、そのうち山梨県出身の自衛官の数はどれくらいだと思いますか。実は北海道が最大勢力で約3万2000人、一方で山梨県は約900人と全国で最も少なく、全体のわずか0・4パーセントです。山梨県は陸上自衛隊の北富士駐屯地があるだけの海なし県、空港なし県で、そもそも自衛隊とのなじみが薄いのも自衛官が極端に少ない理由なのかもしれません。私は、そんな希少種の自衛官の一人です。

私の現在の仕事の内容は開発集団の公式ホームページをご覧いただくとして、入隊以来30有余年、山梨との仕事上の関わりは皆無でしたが、時には不思議な縁を感じることもありました。例えば、はじめて基地司令職を拝命した奈良は甲府藩主柳沢氏が転封された土地、次の青森は甲斐南部氏を始祖とする南部藩の一部だったなど、郷土山梨との歴史的な繋がりは、赴任先の首長さんと人間関係を築く上でもずいぶんと役立ちました。そして意外にも、私が尊敬する今村均陸軍大将も甲府中学出身だったのです。

幹部候補生に語った、私の「強行遠足」

あの母校の強行遠足の記憶は今も鮮明に残っています。むしろ、この職業を選択したからこそ、その印象が深まったのかもしれません。私は以前、旧海軍の江田島に相当する幹部候補生学校の学校長でした。そこは防衛大学校や一般大学を卒業したばかりの幹部自衛官の卵を教育する学校で、過酷な訓練は二十歳そこそこの学生を肉体的、精神的極限状態に追い込むこともあります。この学生からすれば理不尽とも思える状況に否応なく放り込まれるという部分に、母校の強行遠足との共通点を見たように思えました。私は、学生たちの前で強行遠足について語ったことがあります。

「強行遠足の終点は小諸だが、小諸に到着することが目的ではない。105キロの道のりを踏破する過程で直面する非日常の逆境の中で、自己と対峙することにこそ意義があるのだろう。関門通過の制限時間が迫り、痛む足を引きずる友を置き去りにしても前進すべきか苦悩したこともあった。つまるところ、その苦しみに意味を見出せるのは自分以外になく、そこには正解もない」と。

母校が母校であるために

現在の強行遠足が当時のままなのか知る由もありませんが、最近は個人の権利や自由が尊重され、事故発生時の管理責任も厳格に問われるようになってきたこともあって、いわゆる伝統行事というものが徐々に本来の姿を変えつつあるように思います。ひょっとすると、かつて母校の薄暗く黴臭い講堂で行われていた新入生応援練習もその類だったのかもしれません。しかし、伝統行事が持つ根源的な価値や重要性を確実に次代に継承してゆくこと、これこそが徽典館（甲府藩の学問所）の系譜を継ぐ甲府一高の使命であり、県内一の伝統校として「絶対に失ってはいけないもの」だと考えています。

卒業生からの便り

医療の安全と効率と倫理

小林英一



写真は、千葉大学病院での脳血管内治療の現場を撮影したものである

新制度の導入で変わる医療システム

医療の安全と効率が叫ばれて久しい。本格的な改革は、1999年に起こった横浜市大病院の手術時の患者取り違え事故と、都立広尾病院の消毒液誤注による患者死亡事故に端を発する。その後、各病院で医療安全管理室が設立され、リスクマネージャーが配備され、インシデントレポート（＊1）や委員会が整備された。ガイドラインやインフォームドコンセント（＊2）が確立され、重要案件に関しては外部から専門家を招聘し検証するシステムが整えられた。同時に、過密な医療現場の負担を軽減するとともに、病院経営の健全化を目指し、医療の効率化がハイスピードで押し進められた。本邦の病院の平均在院日数は、1990年は47・4日であったが、2014年には33・2日まで短縮しており、さらに急性期病院ではおよそこの半分である。2003年からは、包括医療費支払い制度（DPC）が導入された。それまでの出来高払いと異なり、各疾患の重症度に応じて一定の期間内に最小限の医療で治療を完結できれば、病院収益が上がるシステムとなった。極端な話、それまでは下手な医者に治療を受け合併症が生じると、投薬や追加治療が増え入院期間が延長されるため、患者さんの支払いも増え、病院に入る収入も多くなった（!!）。しかし、DPC制度のもとでは長期入院になると1日あたりの支払額が低下し、収益率が減少する合理的なシステムとなっている。これによりDPCの1〜2期間（平均的な在院日数）で早期に退院させることが一つの命題のようになった。病院にとっては好ましいことだが、退院にあたっての満足度や家庭の事情などは考慮されていない。

効率・正義・使命感

資本主義の世界で生きる限り、国民皆保険制度の本邦にあっても採算性や効率性から逃れることはできない。しかし、その傾向が最近特に顕著である。かわって医療の現場で倫理や正義を教えることは少なくなった。私が医学部を卒業した1986年頃は、教授から医者の三種の神器は、英語と統計学と哲学と教わった。そもそも、哲学という言葉を臆面なく使用していた当時に時代の変遷を感じるが、しっかりした使命感と倫理感がなければ、どんな仕事も間違った方向に進む可能性を諭された。先輩と飲み会に行っても、生命倫理や医師の使命といった青臭い話をよく聞かせていただいた。印象的だったのは、隣で飲んでいた知らない研修医集団が、入院中のうるさい患者の話を肴に酒を飲んでいたところ、私といた先輩医師が怒り出し、彼らに説教を始めたことである。研修医集団は、バツが悪そうにそそくさと退散した。良きにつけ、悪しきにつけ社会にまだ倫理感が蔓延していたような気がする。それが現在では三種の神器は、英語と統計学とコンピュータースキルとなった。英語も近い将来に完全自動翻訳可能となると、かわって経営学が入るのかもしれない。高齢者医療、高額医療、臓器移植、遺伝子治療、出生前診断、安楽死、緩和医療、臨床治験、人工知能など、これからも山積する問題を抱えるこの分野で、効率とともに正義と使命感が共存する世界を再構築しなければならない。

医療に限らず、最終的な結論が出せない人間の幸福や善悪の価値観に関して、それでも常に考え議論を重ねてゆく姿勢と環境は、今後ますます重要になる。問題は、格差社会の進行により、健全な中間層が空洞化し、議論の場が激減していることである。かたや、SNSなど社会全体に対して安易に意見を表出できるようになったが、大事なことは目を見て話さないとダメである（少なくともそう教わった）。困った時には、身近な先輩や同僚を誘って飲みに行くのがよいし、このような議論が青臭くない社会を大切にすべきである。

＊1　インシデントレポート：医療現場で事故につながりかねないような事例の報告書
＊2　インフォームドコンセント：手術に対して病状や治療の方針を医師が患者に説明して同意を得ること



小林 英一（こばやし えいいち）（昭和55年卒）
千葉大学医学部附属病院脳神経外科診療教授、包括的脳卒中センター長

1961年生、1980年山梨県立甲府第一高校卒。1986年千葉大学医学卒後、母校の脳神経外科に入局。国立千葉病院、千葉県救急医療センター等で研鑽を積み、2006年には米国UCSF&UCLA medical centerにて臨床研修。2015年より現職。専門：脳血管障害（脳卒中）、脳神経外科、脳血管内治療。

一紅会長の任期を終えるにあたって



一紅会会長
谷口百合子
（昭和三十六年卒）

一紅会は、甲府中学・甲府一高東京同窓会の女性のネットワークとして発足し、今年で二十三年目を迎えました。当初は各学年選任による幹事三十名で構成された幹事会も、いまでは七十名余りの大所帯になりました。

一紅会の主要活動として年三回開催している幹事会は、学年の枠を超えて交友を深める良い機会となっています。また、最大のイベントである「春の講演会」は、今年で二十一回目となり、去る三月十日に小林英一氏（昭和五十五年卒）をお迎えして、「脳卒中医療の最前線から」と題してお話を伺いました。ご参加頂いた四百二十名もの同窓生からご好評を頂き、盛況裏に終りました。このように講演会を長く持続出来ましたのも、講師の先生方のご専門の魅力溢れるご講演と、それをご支持下さる皆様のお蔭によるものと深く感謝しています。

講演会から派生した歴史研究同好会は、渡辺房男氏（昭和三十八年卒）をリーダーに、毎年春秋二回活動して十二年になります。

平成二十四年に飯田冨美子様より一紅会会長を引き継ぎまして六年、今回の総会を以て任期を終えます。在任中皆様から沢山のご協力とご鞭撻を賜わりまして感謝の気持ちでいっぱいです。一紅会の更なる発展を祈念し、今後とも変わらぬご支援をお寄せ下さいますよう切にお願い申し上げます。



小林 英一氏（昭和55年卒）

第21回一紅会講演会

脳卒中医療の最前線から

上杉謙信も、徳川家光も、国定忠治も、小林一茶も実は「中風（脳卒中）」だった！

思わず引き込まれてしまう導入部から講演は始まりました。語り手は千葉大学医学部附属病院・包括的脳卒中センター長の小林英一先生（昭和55年卒）。テーマは日本人の国民病「脳卒中」です。２０１８年３月10日に行われた第21回一紅会の講演をレポートいたします。



脳卒中は大きく3つに分類されます。欠陥が詰まる場合が「脳梗塞」、細い血管が破れる場合が「脳出血」、太い血管が破れる場合が「くも膜下出血」。

歴史上の人物たちを挙げるまでもなく、脳卒中は古来より日本人の死亡原因第1位でしたが、今やがんが死亡原因のトップ。人間の寿命が延びれば細胞ががん化してしまうことは生物としての宿命でもあります。脳卒中による死亡率は現在第3位。予防医学と治療の進歩により確実に減少してきました。

脳卒中の死亡率は下がる一方で、発生率は下がっていません。つまり後遺症が残り、病後の人生にも大きく影響を与えるのです。脳卒中患者は約１７０万人といわれ、単一臓器では国民総医療費の第1位（1兆7千億円）。要介護率も高く介護に多くの手が割かれることになり、家族にも大きな負担に……。

すさまじい超高齢化の影響を受けて、既に36万人が寝たきりで介護を受けています。今後15年も脳卒中発症者は増加し続けるとの衝撃の予測も！

では、いかに脳卒中を予防するか？　小林先生は、

①生活習慣（病）の改善　②正しい情報を手に入れる

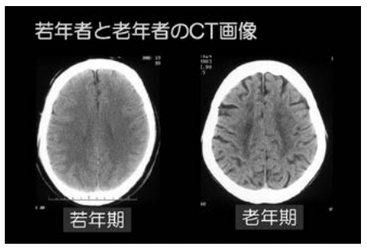
③信頼のおける医者選び　④脳ドックの活用

を挙げてくださいました。当然ながら血圧が高いほど脳卒中のリスクは高まります。皆さん、当たり前ですが禁煙と節酒を心がけましょう。

予防のためには何といっても早期発見が第一。頭痛が続くとか、めまいが気になるという方は早めに専門医を受診してください。

山梨県民は健康寿命が男性が全国1位で、女性が第3位です。脳卒中を予防してさらに楽しく長生きしたいものですね。

（日新鐘・編集部）





講演後は質疑応答も行われた







一紅会の春の講演会は、一紅会幹事会のメンバーによる運営で開催されています





平成29年度 甲府一高この1年

可能性の翼を大きく広げて、世界へ、未来へ

昨年度1年間に行われた一高、
そしてSGH（Super Global High School）での
活動の記録です。
文武両道に、校内外で行われた
講演、研究、文化、スポーツなど、
多方面での活動がうかがえます。



インターネットで同窓会！

山梨県立甲府第一高等学校 同窓会オフィシャルサイト

設立　2016年4月　参加者 336 名（2018年6月現在）　管理者　竹内浩二（昭和 49 年卒）

甲府一高同窓会の運営する公式サイトです。甲府と東京の同窓会のホームページが開設され、ドメイン取得やサーバーの設定、
運営をしてきましたが、SNS の利用者が増えているので、同窓会としての公式の Facebookグループを開設しました。
母校の同窓会入会式、卒業式、強行遠足などの様子や同窓会の情報をリアルタイムで発信しておりますが、会員の情報発信も可能です。
また、同窓会や母校への質問等も受け付けております。一高卒業生限定の非公開グループですので、
会員になりたい方は、同級生に参加リクエストを承認して頂くか、卒業年と漢字の姓名を、参加リクエスト時に回答いただければ、
同窓会名簿で確認して承認いたします。



甲府一高 同窓会 交流サロン
はなみずき

設立　2013年　参加者 262 名（2018年6月現在）
管理者　小林香里（平成３年卒）

2013 年にスタートし５年目となりました。
校門前や朝日通りに咲いている はなみずき から
命名いたしました。
主な活動は卒業生や現役生の情報、
同窓会幹事学年へのサブ幹事捜索活動、現役大学生と
OB とを繋ぐ活動等などをメインとしています。
不定期にオフ会も開催していますので
お気軽にご参加ください。
参加される際は卒業年を合わせてお知らせください。



日新鐘
甲府中学・甲府一高
東京同窓会

本年度当番幹事の昭和 55 年卒が
運営する Facebook ページ。
東京同窓会の活動を順次紹介し、
各種告知や報告に利用しました。

各学年単位でも卒業生が Facebook ページを開設し活動しています。
「甲府一高」「甲府一高同窓会」で検索してみてください。

主な学年グループ　昭和 56 年卒 / 昭和 63 年卒 / 平成３年卒　など

表彰式・同窓会入会式(2/28)





同窓会役員の皆様にもご来校いただき、同窓会入会式および表彰式が行われました。表彰式では外部団体表彰65名、生徒会功労賞46名が表彰されました。

研修旅行(12/11～15)





今年度も、2コースに分かれて実施しました。英語科2年生は11～15日に上海に、普通科2年生は12～15日で沖縄にそれぞれ研修旅行に行きました。上海では現地日本企業見学や現地学生との交流活動を図り、沖縄ではクラス別の平和研修や班別研修を行いました。普段の生活では得ることのできない貴重な経験をすることができました。

第91回強行遠足(10/7～8)





本校最大の行事「強行遠足」が行われました。男子は学校から小諸までの104km、男子のゴールは小諸市の協力のもと、昨年同様に懐古園。女子は高根から小海までの41.6km。男女ともゴールを目指し、自己の力の限界に挑みました。到達率は男子59.3%、女子88.0%。今回は北見北斗高校との交流事業として、男女それぞれ生徒2名ずつ参加し、職員3名、同窓会会長の4名が引率として甲府一高を訪れました。大会当日は多くの同窓生の方にご協力をいただきました。

新人大会(10月中旬～)



陸上部が男女とも関東高等学校駅伝競争大会に出場しました。(大会は11月)

この夏、多くの部活動が全国大会に出場





7月下旬から8月中旬に開催された全国高校総体(インターハイ)に、山岳部女子が、個人ではアーチェリー男子、水泳部男子、スケート部女子(1月)が出場。また、全国高校総合文化祭に、美術部、ア・カペラ部、文学部が出場。新聞部は文化連盟賞を受賞しました。
文化部では、関東対規模の大会に文学部、演劇部、ア・カペラ部、写真部(2月)が出場し、夏休み期間に、放送部はNHK全国高校放送コンテスト、美術部は高校生国際美術展に出場。陸上部の望月満帆君(2年)は、日本代表としてトライアスロンのアジア大会・世界大会に出場しました。

関東高校体育大会

団体ではアーチェリー部男子、山岳部男子、個人では陸上部男女、水泳男子、空手部男女、アーチェリー部男女、弓道部男子、ソフトテニス部男子、柔道部女子が出場しました。

一高祭(6/22～24)





コラニー文化ホールでの開祭式のあと、クラス発表(1年:合唱、2年:ダンス、3年:劇)、文化部発表が。2日目は、緑が丘体育館で体育祭、3日目は学校で一般公開を開催。多数の方が来校され、クラス展示、クラス新聞や似顔絵、部展示などを見ていただきました。

入学式(4/7)



普通科200名、探究科81名の合計281名の新入生を迎え、本校体育館で行われました。

応援練習(4/13・14)



一年生を対象に応援団の指導のもと、応援練習が体育館で行われ、上級生の熱のこもった指導で、新入生は校歌や伝統の応援歌を大きな声で歌っていました。

3月 2月

卒業式(3/1)





普通科235名、英語科37名の合計272名の卒業生が母校を巣立っていきました。おめでとうございます。

1月 12月

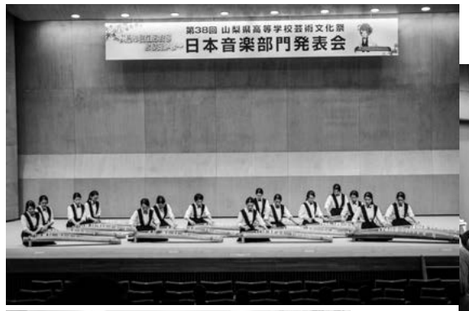
大学入試センター試験激励会



1月13日、14日の2日間の大学入試センター試験に、267名の生徒が挑みました。

11月 10月

第37回山梨県高校芸術文化祭(10～11月)





県内各地で県高校芸術文化祭が行われ、本校から13部が参加。その内、箏曲部、弦楽部、文学部、美術部、新聞部、放送部の6部が、関東大会や来年の全国総文祭諏訪大会への出場が決まりました。

西関東吹奏楽コンクール(9/10)

高校Aの部に出場し、銅賞を受賞しました。

強行遠足協力者会議(9/27)



PTA、同窓会担当学年代表者が集まり、検印所・給水所ごとに打合せを行い、生徒の安全確保について確認しました。

9月 8月

7月 6月

第99回全国高校野球選手権山梨大会(7/11～)



2回戦から出場し、市川高校に3−4で惜敗。後半追い上げるゲーム展開でしたが、一歩及ばずでした。

学校説明会(7/15)



学校説明会がコラニー文化ホールで行われました。午前・午後の2部制に、1,919名の中学生や保護者が参加。年々参加者数が増加し、一高に対する中学生の関心度の高まりを感じます。

5月 4月

第69回山梨県高校総合体育大会(5/10～13)



総合開会式が小瀬スポーツ公園山梨中銀スタジアムで行われ、山梨県下各会場で熱戦が繰り広げられました。男子は陸上800m、水泳100・200m背泳ぎ、弓道部個人が優勝。女子は山岳部が優勝(6連覇)。総合順位は男子14位、女子17位でした。

吹奏部定期演奏会(5/3)



中学生からお年寄りまで約1,700人の方々が来場され、コラニー文化ホールの大ホールはほぼ満席でした。

SGH
(Super Global High School)

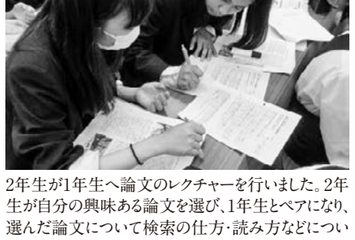
文部科学省が「急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に関する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する」ことを目的に、2014年（平成26年）から5年間、全国の中から56校の高等学校を指定し行っている事業。山梨県では甲府一高が唯一の指定校。

4年目を迎え、山梨県から唯一輩出しているグローバル・リーダーの育成は、ますます活動の場を広げた一年だった

SGHの一年

4月

Door集会



SGH活動を行っている1,2年の探究科、3年英語科、特進クラスの総勢240名が集結。2,3年生のグローバルリーダーより活動の意気込みと下級生へのアドバイスが行われました。

ウェルカムキャンプ



探究科新入生が初めて探究活動を行いました。NIEワークショップとして、新聞記事を使った問題定義や解決について。グローバルリーダー育成セミナーは、リーダーの資質について。英語力向上ワークショップも。

5月

論文レクチャー

2年生が1年生へ論文のレクチャーを行いました。2年生が自分の興味ある論文を選び、1年生とペアになり、選んだ論文について検索の仕方・読み方などについて指導しました。

6月

山梨県立大学講座



「山梨学」製造業を中心とする山梨産業の現状／「山梨県の政策課題」山梨の国際観光の動向について／「取材論」インタビューの楽しさ、表現方法の狙いと多様性を知りました。

7月

企業訪問（旬果市場／中央葡萄酒〈ミサワワイナリー〉）



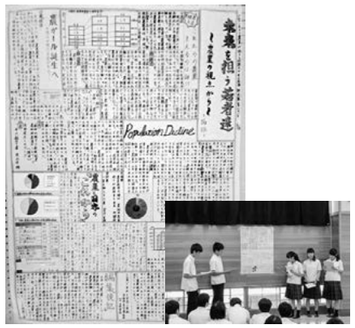
コースに分かれて県内の企業、新しい試みで事業を行っているところ、昔からの伝統を守っているところを訪問し、現場の課題に直接触れ、これからの研究に生かしました。

農林水産省基調講演



山梨と日本の農業が抱える問題点やその原因、解決策等についての講演を行いました。

壁新聞作成／発表／審査



農林水産省の基調講演を受け、グループに分かれ農業についての新聞を作成、発表、審査しました。

第3回山梨ブランドサミット（本校体育館・各教室）



スーパー・グローバル・ハイスクール（SGH）の事業成果の周知を図るとともに、来年度以降の事業改善に資するため、1学年はポスターセッション、2学年はパワーポイントを使用してのプレゼンテーション、3学年は5グループが参加し、3年間のSGH活動を振り返りました。

3月

オーストラリア課外短期研修
（南オーストラリア州アデレード）





オーストラリアの姉妹校であるヘンリー高校での交流を中心に、英語を母国語とする国において、生きた英語に触れ、その国の文化、風俗、自然などを学ぶと同時に、同世代の生徒との交流を通して英語の運用能力を高めました。

アメリカリーダー研修
（サンフランシスコ・ロサンゼルス）





ワインの消費量が世界第1位であるアメリカで山梨県産ワインの流通などの調査や、山梨県のワイン産業との相違点や類似点について考察。また、同世代の生徒との交流を通して英語の運用能力を高めました。

※本来4月からの活動リポートですが、昨年3月に行われたイベントが昨年掲載できなかったので、今年載せることにしました。

11月

EUがあなたの学校にやってくる





EU加盟国の大使や外交官が日本全国の高等学校を訪問し、EUおよび各出身国について説明する出張授業。今回は、フィンランド大使館から報道文化担当参事官のマルクス・コッコ氏が来校、講演しました。

12月

プレゼンジャム





模擬課題についてリサーチ・実地調査し発表。年度末に行われるブランドサミットに向けて、基本的なプレゼンのあり方を学習しました。

第2回Door集会

3年生が、これまでの反省と1,2年生へのアドバイスを行ないました。自分たちで調べ、考えた上で実地調査に行くこと、計画性と早めの取り組みが大事だといったアドバイスがありました。

8月

長野研修
（長野県飯田市、下條村、松川町の農家）

企業・産業等が抱える問題に目を向け、実体験を通して農業を考え、実際的な社会課題に対する深い関心と問題解決能力を養いました。また、農家での実体験を通して、豊かな人間性を涵養していきます。

グローカルセミナー



企業人の講話を聴講し、普遍的な社会的課題を探るとともに、ローカルとグローバルの双方向の視点を育てます。また、国連で採択された「SDGs（Sustainable Development Goals）」に着目し、世界の課題を探求します。

9月

ブランドフォーラム
（やまなしブランドフォーラム）



生徒が主体となり企画、運営。PTAの方々を中心にシンポジストを依頼し、本県の現状と課題に触れていただき、よりよい山梨を創世するための解決策を模索していく。今年度のテーマは「イノベーション」でした。

プレゼンジャム基調レクチャー

県観光部国際交流課の方を講師に迎え、これから取り組む模擬課題、アウトバウンド課題「○○をフィリピン／インドネシアに紹介・輸出する」、インバウンド課題「2020年に向けた受け入れ構想」について県の政策、社会課題等を踏まえた基調レクチャーを行いました。

10月

リーサスレクチャー

地域経済分析システム（RESAS）の使い方について学びました。

研修旅行（上海）





研修国の文化、歴史、生活習慣などに触れ、異文化理解、国際理解に努め、英語による積極的なコミュニケーションを図りました。団体行動を通して、社会生活・集団生活の規律を守る態度を育てました。

1・2月

校内ブランドサミット





- 山梨県の社会課題について調査・探究してきた内容のブラッシュアップ、論理的思考力や実践的なコミュニケーション能力の向上を図ります。
- 学年を超えた評価活動を通じ、クリティカルな視点を身に付けるとともに、1人ひとりの主体性を養います。
- 3月実施の山梨ブランドサミットに向け、さらに深める探究課題を見つけ、ポスター・プレゼンを修正します。山梨ブランドサミットに向けた探究内容の発表をします。

広告目次

今年も多数の広告掲載
誠にありがとうございました。

ア
あいおい法律事務所……45
㈱アセッツアールアンドディー……45
荒川外科肛門科医院……37
イ
石原ヒサシダンススクール……42
ウ
㈱うちだ……44
内田クリニック……36
エ
SMBC日興証券㈱……42
NECプラットホームズ㈱……39
オ
医療法人社団滋明峰会大泉はなわクリニック……40
おぐちこどもクリニック……表3
カ
笠井クリニック……41
医療法人社団川嶋クリニック……45
キ
木挽町天國……32
公益財団法人キープ協会……38
ク
㈱熊谷組……45
ケ
㈱京葉マツヤデンキ……32
コ
小泉商事㈱……39
甲府一高・東京三二会有志……45
甲府一高・東京さんさん会……32
甲府一高・東京三五会……43
甲府一高・東京36会……40
甲府一高・東京38会……38
甲府一高・東京42年卒業生一同……41
甲府一高・昭和43年卒業「よん燦会」……45
甲府一高・昭和47年卒・東京47会……42
甲府一高・昭和49年卒・東京49会……44
甲府一高・昭和50年卒・東京50会……37
甲府一高・昭和51年卒・東京51会……41
甲府一高・昭和53年卒・東京53会……36
甲府一高・昭和54年卒東京同窓会幹事一同……4
甲府一高・昭和55年卒同窓会「五五会」……16
甲府一高・昭和55年卒 二宮 公俊……47
甲府一高・百新会（56東京卒業）……35
甲府一高・57年卒東京同窓会……43
甲府一高・昭和61年卒同窓会……45
甲府一高湘南同窓会……表3
㈱コスモエナジー……42
㈱後藤設計室・アーキシップ帆……44
サ
サイキデザイン……44
さいとうクリニック……44
境川カントリー倶楽部㈱……34
さくら少額短期保険㈱……37
㈱サンニチ印刷……41
㈱サンリオ（サンリオピューロランド）……40
シ
NPO法人 C&Cクラブ……42
重枝司法書士事務所……45
シミックホールディングス㈱……39
医療法人社団鵠志会……45
㈱ジャステック……表4
㈲ジャパンアートメモリー……44
㈱白根ベニヤ……41
ス
住友不動産㈱……45
タ
泰和電気工業㈱……38
タマ生化学㈱……46
㈱たまパッケージ……44
チ
千代田セレモニーグループ……5
テ
㈱でり坊（魚よし）……45
ト
㈱東京會舘……33
㈱常磐ホテル……42
凸版印刷㈱……41
ナ
㈱内藤ハウス……39
㈱中嶋文夫＋D・A設計事務所……43
ニ
新津裕史税理士事務所……40
日本テレビ放送網㈱……43
財団法人日本盲導犬協会……32
ノ
医療法人社団 孝和会 能見台パートリア……32
野村エンジニアリング㈲……42
ハ
㈱はくばく……38
㈱早野組……表2
ヒ
ひはらクリニック……44
司法書士 平井幸男事務所……44
フ
フォネットグループ……5
富国生命相互会社……36
富士観光開発㈱……44
藤沢脳神経外科病院……32
ホ
㈱ホテル グランドパレス……43
㈱ホテル東京（八王子日本閣）……4
ミ
㈱三菱ケミカルホールディングス……45
ミンクマジック……32
メ
明和税理士法人……44
モ
医療法人社団望月耳鼻咽喉科……45
門西栄一法律事務所……40
ヤ
医療法人社団慈広会 矢崎胃腸外科……40
山梨県人会連合会……44
㈱山文……32
ユ
㈱UG都市建築……43
㈱ユニフォトプレスインターナショナル……43
リ
林野内科医院……43

2018年
協賛者・協賛会社名（敬称略）

昭和27年卒業生有志一同
谷口 百合子（S36年卒）
深沢綜合法律事務所 深澤 隆之（S41年卒）
設楽 久敬（S45年卒）
笠井 博一（S51年卒）
矢野 秀樹（S52年卒）
勝村 良一（S53年卒）
萩野 雅彦（S53年卒）
遠藤 晋（S54年卒）
近藤 厚治（S55年卒）
オフィスかがみもち（H6年卒）
株式会社 甲斐電子
日蓮宗円立寺 高野玄隆
日蓮宗総本山身延山久遠寺御廟法務所 祖廟別当 高野玄隆

この他にもご協賛をいただきました。
本当にありがとうございました。

東京三一会有志



おかげさまで 96周年

ワイヤロープ
土木建設資材・工事
太陽光発電システム
消防・防災機器

株式会社 山文

代表取締役会長 廣瀬彰義
（昭和31年卒）

本社　〒820-0004 福岡県飯塚市新立岩1番20号
TEL 0948(22)0215(代)
本社営業部　TEL 0948(22)1312
福岡支店　TEL 092(473)0889
（土木建築部、消防・環境部）
北九州支店　TEL 093(681)9138
東京支店　TEL 03(3441)4125
飯塚ワイヤロープ加工工場・北九州ワイヤロープ加工工場
http://www.kabu-yamabun.co.jp/

特定公益増進法人
財団法人 日本盲導犬協会
JAPAN GUIDE DOG ASSOCIATION

理事長 井上幸彦
（昭和31年卒）

東京本部　TOKYO Office
150-0045　東京都渋谷区神泉町21-3-3F
TEL (03)5452-1266　FAX (03)5452-1267

脳神経外科　整形外科　麻酔科　リハビリテーション科

藤沢脳神経外科病院



院長：数野隆人
（昭和31年卒）



〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬2-15-36
電話　0466(27)1511(代)　FAX　0466(28)0882

交通ご案内
●電車……江ノ電鵠沼駅下車徒歩6分。
●バス……藤沢駅南口より 江ノ島バス 新屋敷バス停下車1分。

HARD-OFF
OFF HOUSE

ハードオフ・オフハウスFC加盟店運営会社
株式会社 京葉マツヤデンキ

代表取締役 青柳守彦
（昭和31年卒）

本部／〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-19-22 TEL. 047-325-7571 FAX. 047-325-7572
ハードオフ
柏豊四季店／〒277-0863 柏市豊四季224-6 TEL. 04-7147-7188 FAX. 04-7146-0530
市川大野店／〒272-0804 市川市南大野1-14-10 TEL. 047-303-5586 FAX. 047-303-5587
オフハウス
柏豊四季店／〒277-0863 柏市豊四季224-6 TEL. 04-7144-2384 FAX. 04-7146-0530

医療法人社団　孝和会　介護老人保健施設

能見台パートリア





理事長 柳澤和孝（昭和31年卒）
事務長 佐々木隆行

〒236-0058
横浜市金沢区能見台東 10-1
Tel. 045-790-5733
Fax.045-790-5737



てんぷらの老舗

木挽町 天國

株式会社 甲斐國
代表取締役　剣持甲斐太郎（昭和31年卒）
新宿高島屋レストランパーク14階
TEL 03-5361-1875

高級毛皮レザーウエアー
スペイン製ムートン輸入元

ミンク マジック

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17
TOCビル　地下1F 105号室
TEL 03(3494)2786　FAX 03(5740)5787
代表　岩本福喜（昭和31年卒）





2019.1

Reopen



引き継がれる東京會舘の味わい

二代目となる本舘が竣工したのは1971年。それから44年の長い間、丸の内の社交場として多くのお客様に親しくご愛顧いただいてまいりましたが、このたび、当社創業100周年を間近に控え、三代目が誕生します。
リオープンの2019年まで、東京會舘各営業所において
ご宴会&ケータリング、レストラン&バーなど、丸の内本舘と変わらぬ味とサービスを
ご用意いたしますので、ぜひご利用賜りますようお願い申し上げます。

顧問　笠井莞爾（昭和33年卒）

各営業所、お菓子販売店のご案内　※東京みやげには「東京駅一番街店」もご利用ください（03-5222-6633）

浜松町東京會舘（世界貿易センタービル）03-3435-2611(代)
｜宴会場｜レストラン レインボー｜中国料理 離宮飯店｜ダイニングバー BAR39｜

如水会館（一ツ橋）03-3261-1101(代)
｜宴会場｜レストラン ジュピター｜カフェ＆パブ マーキュリー｜日本料理 橋畔亭｜

大手町営業所（アーバンネット大手町ビル）03-5255-1515(代)
｜宴会場｜レストラン ベラージュ｜中国上海料理 東苑｜バーラウンジ｜

富国ビル営業所（内幸町・富国生命ビル）03-3215-2123(代)
｜東京會舘レストラン ロッシニ｜東京會舘メインバー｜会員制 ユニオンクラブ｜

銀座スカイラウンジ
（東京交通会館）03-3212-2775

特別食堂 日本橋
（日本橋三越本店）03-3274-8495

スウィートプラザ 帝劇ビル店
（帝劇国際ビル）03-3213-8007

東京會舘

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-1
本舘建替期間仮移転先：〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-25-10 三信八丁堀ビル
tel. 03-3215-2111(代)　https://www.kaikan.co.jp/

境川 CC　検索
www.sakaigawacc.com

境川カントリー倶楽部



広く、フラットな 青木 功プロ監修の爽快な18ホール

山梨の豊かな自然に囲まれた青木 功プロ監修の戦略性に富むコースです。
春には桃と李の花が眼下に広がる李桃の里。
八ヶ岳や南アルプス、秩父連峰などの素晴らしい眺めは四季折々に
違った表情を見せてくれて、ひときわ爽快なプレーが楽しめます。
フラットなコースでビギナーからベテランまで。
絶好のロケーションとともに最高の1日をお届けします。



代表取締役　金丸 信吾（昭和38年卒）

（予約専用ダイヤル）☎055-266-5012　（受付時間 9:00〜17:00）　定休日：年中無休

〒406-0851 山梨県笛吹市境川町小黒坂2266　TEL.055-266-5011　FAX.055-266-4689

祝 母校創立 138 周年

昭和 55 年度卒業　二宮　公俊

起て撃て勝て

起て撃て勝て
甲府一高　一高
その名ぞ我が母校
仰ぐ芙蓉の峰さやか
穹天まさに轟かむ
見よ精鋭の集へるを
結べる眉に必勝の
誓ひは固しわれらが精鋭
おお
起て撃て勝て
甲府一高　一高
その名ぞ我が母校

モバイル保険

壊れてももう安心!!新商品モバイル保険販売!!

スマホやタブレットの修理費用を年間10万まで、しかも3台までカバーします

なでしこ保険 無告知型女性特有疾病一時金保険

新しく女性向け弁護士相談サービスが付きました

告知なしでカンタンに入れる女性のための保険

女性特有の7つの病気を保障します。年代別にリスクが高い病気を倍額保障

【395-HNN.1703】

スマートフォン・タブレット等の携帯端末修理費用保険のパイオニア

さくら少額短期保険株式会社 https://www.sakura-ssi.co.jp/

代表取締役社長 小松 義彦（昭和52年卒）

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-16-13 光ビル 4F TEL 03-5951-1090 FAX 03-5951-1085

祝 第59回 甲府中学・甲府一高 東京同窓会



昭和49年卒業生一同



末永い同窓会のご発展と皆様のご健勝を祈念しております。

S49甲斐犬のイチコウ

荒川外科肛門科医院

ARAKAWA PROCTOLOGY

肛門疾患手術 胃・大腸内視鏡検査 痔核注射療法

•女性医師常勤 •日曜午前も診療 •入院設備有 •点滴鎮静麻酔による検査実施

院長 松田 好雄（昭和35年卒） 大高 京子・松田 大助・井上 英美

JR常磐線三河島駅より徒歩5分 京成線新三河島駅より徒歩5分 千代田線町屋駅より徒歩8分

03-3806-8213 東京都荒川区荒川4-2-7（荒川区役所近く）

祝 第59回 甲府中学・甲府一高 東京同窓会

内科 内田クリニック

院長 内田 一光（S47年卒）

〒571-0030 大阪府門真市末広町7－8 幸福ビル2階

☎ 06-6900-7877

フコク生命は、
「ハローキティ」とともに
夢と安心をあなたにお届けします!!



「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。
©1976, 1999, 2018 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G582074

富国生命保険相互会社 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2 ☎ 03-3508-1101(大代表)

㊍広 - 秘書 -2449（2018.4.9）

すてきな未来応援します
フコク生命



祝

第59回

甲府中学・甲府一高
東京同窓会

昭和51年卒業生（東京51会）一同

CMIC
Pharmaceutical Value Creator

Bridging to the Future

安全で有効な薬をより早く患者さんのもとへ届けることに貢献し、
希望の未来への架け橋となることを目指します。



シミックホールディングス株式会社
代表取締役 CEO　中村 和男（昭和40年卒）

総合建設業（建築土木一式）
システム建築　立体駐車場総合メーカー

内藤ハウス

専務取締役 **飯島登美夫**（昭和 45 年卒）

本社工場：〒407-8510 山梨県韮崎市円野町上円井 3139
TEL：0551-27-2131（代）　FAX：0551-27-2212・2213
東京支店：〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-13 ヒューリック平河町ビル 3F
TEL：03-3263-1795（代）　FAX：03-3263-1789



店舗付立体駐車場　5層5段 99 台収容



\Orchestrating a brighter world　NEC

豊かな社会のICT基盤を支える
ものづくりの根幹がここにあります。

わたしたちは、NECの社会ソリューション事業の基盤となるハードウェアを、
最先端の技術力、ダントツのものづくり力、CS No.1の品質をもって
全国に広がる販売網で常にお客様目線に立って提供します。



NECプラットフォームズ
甲府事業所：山梨県甲府市大津町1088-3
TEL 055-243-4111



高める、つくる、そして、支える。

KUMAGAI 熊谷組

取締役会長　樋口　靖（昭和 45 年卒）
〒162-8557　東京都新宿区津久戸町 2 番 1 号

はくばく
The Kokumotsu Company

Staple Foos Frontier
～　穀物の感動的価値の創造　～

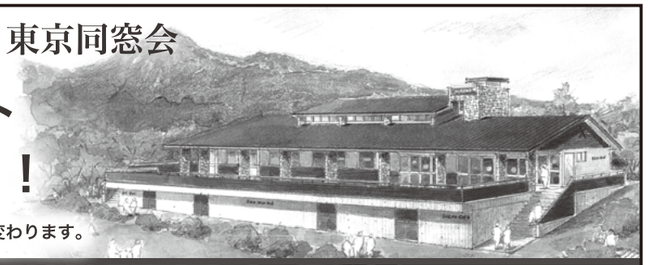
人と穀物をおいしさと健康で結ぶ

本社・工場／〒409-3843 山梨県中央市西花輪4629
お客様相談室（受付時間8：30～17：30　土曜・日曜・祝日を除く）　TEL.0120-089890

株式会社 はくばく
www.hakubaku.co.jp

祝 第 59 回 甲府中学・甲府一高 東京同窓会

清泉寮ジャージーハット
2018 年 7 月 オープン！



ソフトクリームの聖地 清泉寮ジャージーハットが新しく生まれ変わります。





清泉寮 KIYOSATO KEEP SEISEN-RYO SINCE 1938

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545
TEL：0551-48-2111　URL：www.seisenryo.jp
公益財団法人キープ協会　常務理事　林 正人（昭和 53 年卒）

東京同窓会の

末永い継続と

益々の発展を

祈念します！

甲府中学・甲府一高東京同窓会
東京３６会（S36 卒首都圏同期会）

配電盤・制御盤・継電器メーカー

泰和電気工業株式会社

代表取締役社長　小泉 敦夫
（昭和 29 年卒）

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-16
第 3 小森谷ビル 2F
TEL 03-3432-2521　FAX 03-3432-2527

私たちは最良のメディア作りと
サービスを提案致します

商業印刷　サイン&グラフィックス
クリエイティブ　FSC材木・県産材木材
デジタルコンテンツ　コンサルティング

Sannichi YBS Group

株式会社 サンニチ印刷
Sannichi Printing

本社営業・国母工場　甲府市宮原町608-1（〒400-0058）TEL 055-241-1111
東京支社　渋谷区代々木2-10-8ケイアイ新宿ビル（〒151-0053）TEL 03-3374-6241
富士吉田営業所　富士吉田市下吉田9-4-12（〒403-0004）TEL 0555-23-8740
URL http://www.sannichi-p.co.jp/

祝
甲府中学・甲府一高東京同窓会
2018
東京38会

IMAGINE 2020
Printed By TOPPAN

TOKYO 2020　TOPPAN　TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

凸版印刷は、東京2020大会を応援しています。

笠井クリニック
KASAI CLINIC
院長　医学博士
㈳日本内科学会認定内科専門医　笠井 富貴夫

診療科目	特殊外来
内科	糖尿病／高血圧／甲状腺／肥満
小児科	／肝胆膵胃腸／高脂血症／心療
心療内科	内科／花粉症／ピアス／ニキビ
胃腸科	／スキンケア外来（ニキビ、ア
皮膚科	レルギー、アトピー、急性・慢性
内分泌代謝科	の皮膚トラブル）／各種診療
尿もれ	

有名大学病院、一流大学病院との連携強化

当院の3つのお約束
1. 待ち時間を短くします
2. やさしさと笑顔を忘れません
3. 病状、お薬の説明をていねいにします
どんなことでもご質問ください。

企業・住民健診事業

随時受付　診療時間 休診日 水・日・祝日
平日／AM9:00～12:00
／PM3:00～7:00
土曜日／AM9:00～12:00

☎042-551-6611
http://www.kasai-clinic.com/

大駐車場あり
福生市加美平1-15-6
フルヤビル1F
福生駅東口バスのりば①②から2つ目・六小バス停前

門西栄一法律事務所

弁護士　門西栄一
（昭和43年卒）

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3-29
伸治ビル7F
TEL 03-5363-7283　FAX 03-5363-7284

サンリオピューロランド



営業時間　平日10:00～17:00　土曜日10:00～20:00　休日10:00～18:00
※詳細は日によって異なります。
定休日　不定休
●●●各種情報などのお問い合わせ●●●
サンリオピューロランドゲストセンター
TEL042-339-1111（9:30～17:00 休館日を除く）
お得で楽しい情報いっぱい▶www.puroland.jp
所在地/東京都多摩市落合1-31 〒206-8588
※内容については予告なく変更する場合がございます。
©'17,'18 SANRIO/SHOCHIKU
©'76,'93,'96,'99,'01,'18 SANRIO CO., LTD.

日新鐘の活動を応援いたします。
医療法人社団慈広会
前理事長 矢崎 浩　（昭和35年卒）
理事長・院長 三神 俊史（昭和44年卒）
http://www.jikoukai.com/
矢崎胃腸外科【診療科目：消化器外科・内科・肛門外科】
〒252-1113 神奈川県綾瀬市上土棚中1-1-16
TEL 0467-76-6211
介護老人保健施設メイプル
〒252-1124 神奈川県綾瀬市吉岡2361-7
TEL 0467-76-8001

祝
東京三五会
昭和35年（1960年）卒業生 有志

大泉はなわクリニック
ディケア かたかごの花
院長
花輪　滋
（昭和41年卒）
〒178-0063　東京都練馬区東大泉3-17-5
TEL (03)5933-3870

安心と信頼の家づくり
HOUSE DEPOT
SHIRANE
ハウス・デポ 南アルプス
株式会社 白根ベニヤ
〒400-0212　山梨県南アルプス市下今諏訪29
TEL：055-284-1212　FAX：055-284-4488

祝
第59回 甲府中学・甲府一高 東京同窓会



昭和50年卒一同（東京50会）

甲府一高・昭和43年卒業
「よん燦会」
同期卒業生642本の
記念ウィスキーを創りました

税務経営相談のことなら
新津裕史税理士事務所
新津裕史
（昭和52年卒）
相続・贈与・譲渡・事業等、
税務の一切を代行します。
〒252-0239
神奈川県相模原市
中央区中央3-8-2
新津ビル2F
TEL　042-786-8311
FAX　042-786-8313
http://www.niitsu-jimusho.com/



百　新　会

昭和56年卒業



UG都市建築

代表取締役社長　山下 昌彦（昭和 45 年卒）

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目 12 番地 フロンティア四谷 5F

TEL 03-5369-3810　FAX 03-5369-3600　URL http://www.ugtk.co.jp

御礼

2017年度 視聴率『三冠王』

全3部門4年連続No.1

全日：6 時～24 時

ゴールデンタイム：19 時～22 時

プライムタイム：19 時～23 時

日本テレビ放送網株式会社

代表取締役 社長執行役員　大久保 好男

（昭和 44 年卒）

祝

第 59 回

甲府中学・甲府一高 東京同窓会

東京さんさん会

（昭和 33 年卒一同）



庭園を行くカモの親子

1st for tomorrow

～伝統と改革を紡ぐ、未来へ～

祝 第59回 甲府中学･甲府一高東京同窓会

常磐ホテル

代表取締役社長　笹本健次（S43卒）

山村晃通（S56卒）　小沢行広（S62卒）

志村公史（H16卒）　若林正紀（H19卒）

甲府湯村 常磐ホテル / 甲府市湯村2-5-21　TEL 055-254-3111

石和常磐ホテル / 笛吹市石和町川中島1607-14　TEL 055-262-6111

野村エンジニアリング有限会社

Wireless Solutions & Solar Energy

Nomura Engineering Co., Ltd.

無線技術でワイヤレスソリューションを提供

http://www.nomura-e.co.jp

社名　：野村エンジニアリング有限会社

代表者：野村　徹（S53年卒）

住所　：〒242-0023　神奈川県大和市渋谷1丁目7-2

電話　：046-244-0041（代表）　046-244-0771（技術）

FAX　：046-244-3551

Email：info@nomura-e.co.jp

2018年2月 ベトナム･ホーチミンに NOMURA ENGINEERING VIETNAM を設立！

林野内科医院

院長　林　野　久　紀（昭和48年卒）

林　野　妙　子（昭和48年卒）

〒400-0117　山梨県甲斐市西八幡2436

TEL 055−276−2816　FAX 055−276−8935



設計監理

●分譲マンション　●事務所ビル

●賃貸マンション　●テナントビル

●ＲＣ住宅　●教会他

一級建築士事務所

株式会社 中嶋文夫+D･A設計事務所

代表取締役 一級建築士　中嶋　文夫（昭和 46 年卒）

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 2-5-24 中嶋ビル 4 階

TEL:0422-51-8417（代表）　FAX:0422-51-8436（代表）

0422-51-8140　0422-51-1146（専用）

E-mail:da-sekkei@tokyo.email.ne.jp

http://www.ne.jp/asahi/da-sekkei/nakajima

祝

第59回 甲府中学・甲府一高 東京同窓会

甲府一高 湘南同窓会

会　長　丹沢 富雄（昭和40年卒）

幹事長　堀口　修（昭和44年卒）

石原ヒサシ

DANCE SCHOOL

162-0843 東京都新宿区市谷田町1丁目2番地

ランゴスタビル3F

Tel 03-3235-5311　WebSite http://ishiharadance.com

Fax 03-3260-2133　Email info@ishiharadance.com

UNIPHOTO PRESS

株式会社

ユニフォトプレスインターナショナル

代表取締役

太田 東洋男（昭和36年卒）

www.uniphoto.co.jp

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町2-2-34　千代田三信ビル9Ｆ

TEL：03-3264-3761 FAX：03-3239-7002

E-mail：ohta@uniphoto.co.jp



東京、九段

時が静かに流れる皇居の森、

北の丸公園、千鳥ヶ淵を望む

四季の薫るホテル

行き届いたサービスと

心地よいくつろぎがあります。

ホテル グランドパレス 東京・九段

〒102-0072　東京都千代田区飯田橋 1-1-1

TEL 03-3264-1111（代）

https://www.grandpalace.co.jp

地下鉄「九段下駅」東西線（7番口）徒歩 1 分

半蔵門線・都営新宿線（3a･3b 番口）徒歩 3 分

SMBC日興証券 株式会社

代表取締役社長　清水　喜彦（Ｓ４９年卒）

〒100-6524 東京都千代田区丸の内1−5−1

新丸の内ビルディング

日本を今一度、洗濯いたし申し候！



Care（介護）と

Culture（生涯学習）と

IT により

小さな龍馬づくりを目指す

NPO法人C&Cクラブ

昭和38年卒　上矢（うわや）　洋久

私の夢を発信しているホームページです。

地方ほのぼの新聞　検索

http://tetote.or.jp

おいしいお魚と旨い地酒　各種宴会承ります。

築地 魚よし

田中與志子（昭和50年卒）

〒105-0001 港区虎ノ門5-2-8 加賀ビル2F

TEL 03-3433-5611

東京メトロ日比谷線神谷町駅２番口 徒歩１分



医療法人社団

望月耳鼻咽喉科

http://www.mochizuki-ent.com

理事長 望月 高行（昭和59年卒）

東急田園都市線・小田急江ノ島線　中央林間駅

三菱ケミカルホールディングス

THE KAITEKI COMPANY

取締役会長

小林喜光

（昭和40年卒）

100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル

ASSETS R&D

不動産鑑定評価・建物調査

株式会社アセッツアールアンドディー

〒162-0067 東京都新宿区富久町16番6号 西倉LKビル8階

TEL 03-5366-0421

HP http://www.assets-rd.com

代表取締役　飯窪　光隆（昭和53年卒）

不動産鑑定士　一級建築士

住友不動産

〒163-0219　新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル

中村 芳文（S44年卒）

祝

第59回東京同窓会

昭和42年卒一同

皮膚科　医療法人社団

形成外科 川嶋クリニック

理　事　川嶋清美

〒183-0006　東京都府中市緑町3-5-7 第2木城ビル3F

TEL 042(360)1700　FAX 042(360)1707

祝 第59回 甲府中学・甲府一高東京同窓会

TEAM 57 TOKYO

2020年東京オリンピック開催時の当番幹事！

〈昭和57年卒有志〉

石井 孝明　上田 俊彦　宇野澤 美穂　太田 清士

小笠原 寛　木村 充子　小泉 一昌　中川 美穂

西山　宏　平山 美香子　村上 麻里

業務用酒類卸

小泉商事株式会社

〒104-0061

東京都中央区銀座4-3-13

TEL(3562)1701(代表)

FAX(3563)2546

勝どき倉庫　〒104-0054

東京都中央区勝どき3-10-1

TEL(3531)1431

フリーダイヤル 0120-767-828

受注専用FAX (3531)1450

ワイン・地酒・各種ギフト配送・酒類相談など承ります

重枝司法書士事務所

司法書士 重枝昌彦（昭和54年卒）

〒112-0003

東京都文京区春日1丁目16-21 文京シビックセンター地下2階

電話　03(5842)3266

弁護士　松本　成輔（昭和55年卒）

matsumoto　seisuke

あいおい法律事務所

〒400-0858 山梨県甲府市相生1-1-5 甲府西川ビル2F

TEL：055-231-0200　FAX：055-231-0201

伴野内科クリニック　中目黒アトラスクリニック

アトラス心クリニック

医療法人社団 鵲志会

大田区久が原3-36-13

理事長　伴野 正枝（S50年卒）

学校・同窓会関連ホームページもご覧ください。

1st for tomorrow ～伝統と改革を紡ぐ、未来へ～



甲府中学・甲府一高 東京同窓会

http://www.kf1-tk.jp/

甲府一高ホームページ

http://www.first.kai.ed.jp/

山梨県立甲府第一高等学校 同窓会

http://www.kofu-ichiko-dosokai.jp/



祝 第59回甲府中学・甲府一高 東京同窓会

ひはらクリニック

日原　徹（昭和52年卒）

〒158-0094 東京都世田谷区世田谷玉川3-21-10 ドミルチエ1F

TEL 03-3708-2005

優れたソフトウェアを開発する「e職人」のプロ集団です

株式会社

コスモエナジー

代表取締役　軽石　泰孝　（昭和50年卒）

〒171-0033　東京都豊島区高田2－18－23　シャトー目白2F

TEL:03-3986-0048　FAX:03-3986-5794

http://www.cosmoenergy.co.jp/

有限会社　後藤設計室・アーキシップ帆

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-21-3-1006

TEL03-3553-5464



取締役

佐藤　守（昭和52年卒）

自動車部品の製造、組立、物流

株式会社 たまパッケージ

代表取締役　太田　清士（S57年卒）

本　　社　〒350-1302　埼玉県狭山市東三ツ木40-1

TEL 04-2969-1055　FAX 04-2969-1057

E-mail:k.ota@tamapackage.co.jp

明和税理士法人

代表社員

公認会計士／税理士

小　林　明　人

（昭和53年卒）

〒102-0072　東京都千代田区飯田橋2丁目6番3号 プライム飯田橋8階

TEL 03(5215)1196　FAX 03(3221)7836

山梨県人会連合会

事務局　長沼 真（昭和38年卒）

TEL.03-3256-3093　FAX.03-3256-3015

秀麗な富士山を眺めながらプレイを楽しむ個性豊かな3コース

富士レイクサイドカントリー倶楽部

山梨県南都留郡鳴沢村字富士山 8545-6

TEL 0555-86-3111

https://www.fujilakesaid-cc.jp/

富士桜カントリー倶楽部

46thフジサンケイクラシック開催 2018．8/30～9/2

山梨県南都留郡富士河口湖町小立 7187-4

TEL 0555-73-2211

http://www.fujizakura-cc.jp/

敷島カントリー倶楽部

山梨県甲斐市神戸 440

TEL 055-277-6111

https://www.shikishima-cc.jp/

富士山の天然水

ふじざくら命水

富士山の麓からご自宅やオフィスに富士山の天然水をお届けします！



ビジネスパートナー販売店・取次店募集中！

0120-45-2236

https://www.fujizakurameisui.jp/

お問い合わせ・ご予約

富士観光開発株式会社

営業部 TEL0555-72-2236

祝 第59回東京同窓会

東京47会（昭和47年卒）一同



SAIKI DESIGN

TEL03-3461-6434

9-15 Sakuragaoka-cho Shibuya-ku Tokyo 150-0031

斎木 裕子（S50年卒）

うちだの苔もの

株式会社 うちだ

内田 末雄（昭和40年卒）

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-21-2

TEL 03-3951-8528

FAX 03-3951-8538

URL：http://www.uchidanokimono.co.jp/

Mail：mejirouchida@uchidanokimono.co.jp

さいとうクリニック

院長 齊藤 昭人（S47年卒）

〒257-0034 神奈川県秦野市大秦町1-8 トミービル３Ｆ

TEL.0463-84-5222

有限会社 ジャパンアートメモリー

東京都中野区新井1-11-8-3F tel.03-3388-8266

http://www.artmemory.co.jp/

代表取締役 朱宮　明美（S54年卒）



京王線／国領駅５分

●不動産売買、相続、贈与等の登記　●会社設立、役員変更、増資等の登記

司法書士

平井幸男事務所

〒182-0022 東京都調布市国領町4-46-17 エクレール国領301

TEL．042-485-4330　FAX．042-485-4388

（昭和41年卒）

Limited natural resources for everyone.

天然物にこだわり、技術を極める
すべては、人々の健康と未来のために

天然物から抽出・精製した多彩な製品



オレアノール-55
カシスエキス
ブルーベリーエキス
DHA・EPA
グリーンルイボスエキス
イチョウエキス
イソフラボン
ツバメの巣エキス
植物性ステロール
オクタコサノール
茶抽出物
鉄クロロフィリンナトリウム
アメリカンジンセンエキス

ISO9001、GMPに基づく品質保証体制の確立

tama タマ生化学株式会社
TAMA BIOCHEMICAL CO., LTD.
本社　東京都新宿区西新宿1-23-3　〒160-0023
Tel(03)5321-6051　Fax(03)5321-6055
甲府工場　山梨県中央市一町畑810　〒409-3813



祝 第59回 甲府中学・甲府一高 東京同窓会



1st for tomorrow ～伝統と改革を紡ぐ、未来へ～

今年の東京同窓会のテーマは「First for tomorrow～伝統と改革を紡ぐ、未来へ～」
時の流れのスピードが早まる中、培われてきた伝統を見失わずに新しい時代に対応しながら
母校である甲府中学・甲府一高及び同窓会の長年に渡る伝統を継承、
発展させていくことを目指しております。

たくさんのご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。



第59回 東京同窓会 当番幹事（昭和55年卒）一同

難病の子どもたちのための
キャンプ場建設を支援しよう!

甲斐駒ケ岳の麓に子どもたちの笑い声を響かせよう



甲府中学・甲府一高同窓生の皆様に、ここ数年ご寄付のお願いをしてきました「みんなのふるさと夢プロジェクト」(難病の子どもたちのためのキャンプ場(北杜市白州町ーレスパイト施設)の建設)も、おかげさまで順調に進行しています。多くのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。現在では、延べ3,000名以上が利用しています。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

会員募集中 "甲府一高あおぞら会"は、このプロジェクトの理念に共感する甲府一高同窓生を中心とした集まりです。認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークが主催している「みんなのふるさと夢プロジェクト(あおぞら共和国の建設・運営)」を支援しています。会長はS45年卒の露木和雄(副会長:軽石泰孝、事務局:山本秀彦)、年会費は3,000円です。

甲府一高あおぞら会 ホームページからメールで → http://www.ymkp.net/aozora/　ファックスで → 042(786)4132
郵便で → 〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 おぐちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会行

■ 甲府一高あおぞら会　facebook http://urx.nu/il6t　おぐちこどもクリニック院長　小口 弘毅 (45年卒)



1st 伝統と改革を紡ぐ、未来へ for tomorrow



平成30年度当番幹事(昭和55年卒)

実行委員長	穴水芳光
副実行委員長	笠井希一郎
事務局長	中山　実
懇親会部会	中楯雅生／小林秀一
広告部会	横森敬二／保坂政仁／保坂由里／和田麻里子
日新鐘部会	勝村久司／橘田みどり／長田匡司／戸栗玲子
一紅会	八木公子／山本祥子／永島里恵／牧野眞由美
会計部会	近藤倫代／赤池浩一
IT部会	飯島裕一
甲府部会	松本太郎／平賀正一／小野　樹／山村和之／山村一未

制作にご協力いただき、ありがとうございました。

《甲府第一高等学校》

校　長	堀井　昭 先生
総務広報主任	土屋浩之 先生
SGH担当	小泉小百合 先生
応援団顧問	川崎義人 先生

《特集:応援練習》

羽田忠生さん(昭和51年卒)
星野　眞さん(昭和52年卒)
吉村颯馬さん(平成29年入学)

《特集:強行遠足》

田中宏明さん(平成28年入学)
後藤壮人さん(平成30年卒)
有野　圭さん(平成30年卒)

《コラム》

穂坂勝命さん(昭和41年卒)
齊木雅司さん(昭和63年卒)

《Facebook》

竹内浩二さん(昭和49年卒)
小林香里さん(平成3年卒)

編集後記

表紙デザインのイメージは「躍動感」。校舎の上に派手な花火が打ち上げられているイメージで、伝統を未来につなげて行くための大胆さ、自由闊達さを表現しました。また今回Facebookに着目。地元を離れた同窓生達の近況報告や交流、通信に今後はさらに活動が活発になると考えてご紹介しました。最後に寄稿、取材、制作に関して、快くご協力いただいた皆様に感謝いたします。(勝村久司)

たしか3回出場していたはず——。一高の甲子園出場については、在校時代からずっと気にかかっていました。朧げな記憶だけで、それっきりです。日新鐘コラムの執筆がきっかけで、野球部史を調べる機会が得られました。昭和10年に記念すべき一勝を挙げ、五味芳夫選手による1試合5盗塁という記録が今も破られていないことは新発見でした。40年越しの「?」が解明できてすっきりした気分です。大先輩の大記録、誇らしいですね。(長田匡司)

6年前の甲府同窓会誌の時は、同級生との交流が復活しました。そして今回の東京同窓会誌では、なんと40年前にタイムスリップできた応援練習の取材などの取材を通し、今さらですが一高の歴史を改めて知り、諸先輩方との交流ができたことは、自分にとって実り多きものとなりました。2回もこのような機会を与えて頂いたことに感謝すると共に、たくさんの人達の協力のもと出来上がった日新鐘に愛情たっぷりです。ありがとうございました。(橘田みどり)

50歳の同窓会(甲府開催)の当番幹事を迎えると同時に、5年間強行遠足のお手伝い(ボランティア)をします。それを通し、生徒さんたちを応援しながら、私たちの時代との違いに驚いたり、変わらぬ姿に感激したり、貴重な時間を共有させてもらいました。その時の話や写真をきっかけに、強行遠足の今昔を描いてみました。在校生並びにご父兄にもご協力いただき、感謝しております。(戸栗玲子)

2018甲府中学・甲府一高東京同窓会記念誌
日新鐘 VOL.25

発行日	2018年7月14日
発行者	甲府中学・甲府一高東京同窓会
編集者	日新鐘部会
デザイン・制作	株式会社サンニチ印刷／勝村久司(表紙・目次)
印刷・製本	株式会社サンニチ印刷

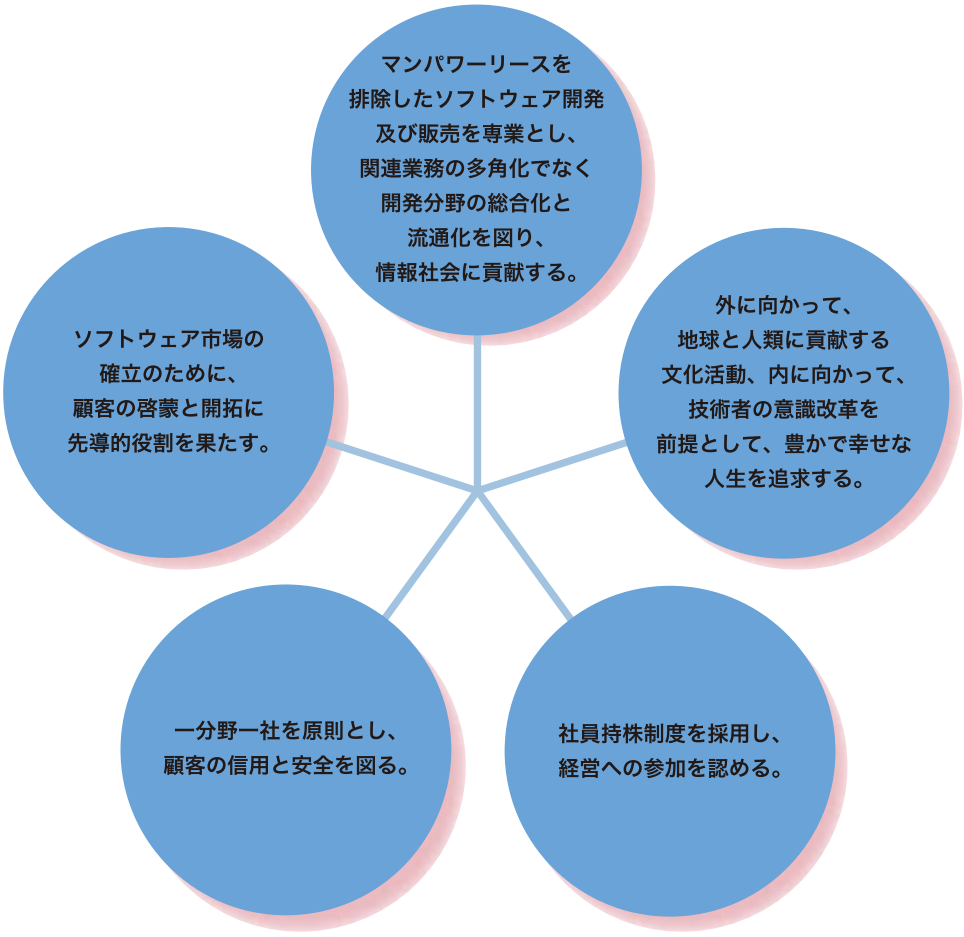


当社のキャラクター【柳小面】

この能面は、金春の座附きであった大蔵彌右衛門虎明（慶長七年の時六歳）の書いた「わらべ草」「登髭」「金春小面と同じ作、同木にて打たる面也、今ノ金春小面ハ柳ナリ」とある小面のことと云われている。池田家伝来。

この能面を、演者で製品の提供者である（株）ジャステックと鑑賞者で製品の使用者であるお客様とを結ぶキャラクターとして採用しました。

経　営　理　念



JASTEC 株式会社 ジャステック

取締役会長　神山　茂（昭和 30 年卒）

〒108-0074　東京都港区高輪3-5-23　TEL.03(3446)0295(代表)
ホームページアドレス　http://www.jastec.co.jp/